

チロリ通信！ VOL.5

発行元：NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ
〒410-0036 沼津市平町24-4-902
電話&FAX 055-962-3190
<http://npo-stds.com/>



【活動レポート】

1. 沼津市ビジネスプランコンテストで当クラブが優秀賞を受賞！

沼津市では独創的なアイデアで起業や創業に取り組む人を応援するため、毎年「ぬまづビジネスプランアワード」を開催しています。そこで、当クラブでも「人と犬との共生」に向けて、事業プランを応募し1次審査を通過、去る3月27日に最終審査会が行われ、見事優秀賞を獲得しました！これに弾みをつけて、「捨て犬ゼロ」の心優しい沼津市を目指して頑張っていきます！！

プランのコンセプト

当クラブの目指すこと

- 1、人と犬との共生を推進
- 2、不幸な捨て犬を出さない(殺処分ゼロ)
- 3、セラピードッグの普及・PR

犬との共生への課題

- 1、ペットショップでの衝動買い
- 2、日常の世話が面倒、出来ない
- 3、問題行動への対応
- 4、家庭の事情で飼うことが困難

今後の環境変化

少子高齢化でお年寄りが増加！

「犬と人との共生推進プラン」をやろう！

1. 支援サービス：①お年寄りのお散歩代行サービス、②お年寄りと犬とのふれあいサービス
③犬との躰・散歩マナー指導サービス
2. 里親探しサービス(従来から取組み済み)
3. コミュニケーションスポット「ドッグカフェ」運営～動物愛護や命の大切さを伝える企画実施



【発表者感想：二藤 清美】

不幸な犬を一頭でも救えるようにプランを考え、皆さんの前で発表をするという、とても良い経験をさせていただきました。クラブメンバーの皆さんに協力していただいたおかげで優秀賞もいただきました！とちりながらの発表でしたが、パソコン担当の鈴木くんもフォローしてくれてありがとう！今回の結果を大きな前進として、これからもがんばります！

★一歩一歩の積み重ねが大事。とにかくやってみることで★(大木トオル先生の言葉です！)

2. ドッグシェルター設立に向けて頑張る NPO 法人福岡どうぶつ会議所訪問！

NPO 法人福岡どうぶつ会議所の活動とは？

当クラブの理念でもある「不幸な捨て犬たちの殺処分ゼロ」を目指し活動している福岡どうぶつ会議所を当クラブメンバー3名で1月18日に訪問してきました。会議所では、3年前から市街地にドッグカフェを運営、動物保護センターから請け出して命が救われた犬は100頭を超え、一般の方からの希望で新しい飼い主を探して第2の犬生を歩むことが出来た犬は3年間で460頭。2010年にはドッグシェルター設立に向けて本格的な募金活動を今年よりスタートしています。

福岡市動物管理センターを見学

会議所の幹事会に参加する前に、会議所が毎月行っている福岡市の動物管理センターへの見学会に参加。各都道府県単位で多くの動物管理センターが設置されていますが、飼い主の見つからない犬や持ち込まれた猫を殺処分する場であることから、一般に公開しているのは、殺処分日本1位となってしまった福岡だけだと思います。

施設内部は、鉄格子に囲まれた部屋が10部屋くらいあり、そこに犬たちが収容され、収容期間である3日を過ぎると自動的に鉄格子が動いて犬たちを廊下へ押しだし、更にガス室の入口に追いやるという構造。ガス室で処分された犬(猫)は、その後、専門業者が持ち出し、ゴミなどと一緒に焼却。見学时、数頭の犬が収容されていましたが、福岡市では全国に先駆けて、保健所に来た犬の新たな里親を捜すため、ホームページ上で即公開し募集をする努力をしていることから、訪問した際の犬たちは、ほぼすべて里親の目途がついているということで安堵。しかし、残念ながら、処分するための施設という印象がとても強かったです。

当クラブでは、2006年夏に動物愛護先進地である米国ロサンゼルスの数カ所のドッグシェルターを訪問しましたが、コンセプトが全く異なり、捨てられた犬たちが第2の犬生を歩めるように、快適な環境の中、マナーの習得も含め、ほぼ無期限に飼育されていました。日本においても、民間のドッグシェルター設立により、より良い環境の中で、1頭でも多くの犬たちの命が救われるようになって欲しいと強く感じました。

NPOの幹事会に参加

さて、夜の幹事会には2名の専属事務員の方の他、10数名の幹事諸氏が参加。「どうぶつ保護活動委員会」、「調査法令委員会」、「総務委員会」などの委員会ごとに活動状況が報告され、継続的な里親への譲渡や、シェルター建設に向けての準備が着実に進んでおり、当クラブの今後の運営方法について大変参考になりました。シェルターの建設資金は建物分で1億円が目標、企業が1口30万円で300件＝9000万円、残り1000万円は個人から。

140万人政令指定都市・福岡ならではの目標だと思いますが、まだまだ動物愛護に対する認識が低く、ハードルは高いと理事長の弁。

その後は、会議所の皆さんと夕食を一緒にさせて頂き、様々な実情を聞いたり、情報交換を行うことが出来ました。今回の訪問で一番の収穫は、同じ想いと理念で頑張っている人達とコミュニケーションが取れたこと。福岡どうぶつ会議所のレベルは日本では他に類がなく、当クラブにとっても心強いパートナーを得ることが出来ました。社会的には地味な活動かもしれませんが、取り組んでいる



テーマは大変意義深いものであるという信念のもと、お互い情報交換を続けながら、地域での「殺処分ゼロ」の実現に向けて活動していきたいと思えます。

NPO Café de [i] の感想【加藤 佳子】

福岡どうぶつ会議所が命の大切さを伝えようというコンセプトで 2004 年にオープンしたオフィス街にあるガラス張りの素敵なドックカフェ。里親募集の掲示コーナーにはたくさんの犬の里親募集がありました。里親申し込みや飼い主になりたい人のための申し込み用紙が自由に手に取れるようになっており、犬の状態や必要条件、要望事項などがしっかり記入できるようになっていました。我がクラブでも、殺さない街を目指すために、このようなコミュニケーションの場となるドックカフェを早く作りたくて強く思いました。



3. 駒沢ドッグシェルター再訪&大木トオル代表訪問！【レポート：重本りえ】

駒沢ドッグシェルター見学

世田谷区駒沢にあるドッグシェルターを見学に行きました。2006年に作られた、ボランティアが運営するシェルターです。東京・横浜の保健所から犬を保護して里親さんをさがしています。ここに保護された子たちの写真展が開かれていました。スタッフは、女性が4人いて若い人が多く優しい温かい雰囲気でした。熱心な姿勢に頭が下がる思いでした。沼津にも是非作りたくです！次に都営ドッグランを見学（駒沢オリンピック公園）。大型犬と小型犬に、一応柵が分かれていてたくさんの犬と人で賑わっていました。入り口の掲示板には、利用規定とマナーがきちんと書かれ、事故の報告もありました。途中、目の前で事故があり、びっくり。年配の女性が、勢いよく走って来た犬をよけようとして足を滑らせ、頭を強く打ってしまったのです。気絶したようで救急車が呼ばれました。萩沢さんが、「こういう場所では、連れて来た犬はもちろん人間も自分で注意して自分の身を守るべきだ」と言っていました。その通りだと思います。



国際セラピードッグ協会・大木トオル代表訪問

チロリの絵や写真が、たくさん飾られてあり改めて、チロリの偉大さを感じました。大木さんは、穏やかな物静かな方で、長年の経験から、お話はとても説得力がありました。大木代表が願っていることは、「人と犬との共生」。殺処分される犬をなくす、ということでお話の中から、それがよく伝わってきました。



特に心に残った大木代表の言葉を紹介します。

- ・犬の命を守るのが私の使命だと思っています。
- ・セラピードッグは、こんなに人間社会に貢献しているんです。反面、捨てられたり、殺されたりする

犬もたくさんいます。どちらも同じ犬、同じ命です。だから私は犬を助けるんです。

- ・ 去年は、中央区にドッグランを作りました。来年は、中央区の捨て犬・捨て猫ゼロを目指します。
- ・ 一步一步の積み重ねが大事です。とにかくやってみる事です。
- ・ 実績を作っていけば、周りは必ず認めてくれます。自分がしていることに自信を持って行動することが大切です。



＊ 今回の訪問では皆様からのセラピードッグ育成基金募金の贈呈を行って来ました。ご協力頂いた皆様方には厚く御礼申し上げます！（合計¥65,515！）

募金箱設置ご協力店（敬称略）

幹カラオケ教室	ハッピー食堂	まちの情報館
ペ・ド・ノンヌ	わんのはな	ぬまづ産業振興プラザ
雄大株式会社	まちのカレー屋さん	NPO 法人 沼津観光協会
ながしま酒店	アフタービート	沼津市 NPO センター
静岡ガス	居酒屋 ほっ田	沼津市指定給水工事店協同組合
カフェ kanoko	沖縄料理 南来流（なんくる）	小川昌宏写真展
三井美容院	八百友ストア	

4. 平成19年度のその他行事報告

- H19年5月26日：名犬チロリ像除幕式：東京都中央区・築地川銀座公園（歌舞伎座東）
銀座に新たな新名所！ゴミ捨て場からレスキューされたチロリと子犬5頭をイメージ。



● H19年6月29日：セラピードッグ河津町訪問

河津西小学校を訪問、大木代表による「セラピードッグ活躍と命の大切さ」講演会開催。全校生徒さんに加え保護者も参加頂きました。

翌日は老人福祉施設のサンシニア河津を訪問。河津西小の子ども達も参加し、実際の福祉の現場でのセラピードッグの活躍を一緒になって体験しました。



● H19年7月24～29日：ラストポートレート写真展開催（東部地域交流プラザ・パレット）

動物愛護精神醸成と捨て犬殺処分の現状を理解頂くために写真家・児玉小枝さんの写真展開催。

セラピードッグの活躍や視察に行った米国ロサンゼルススのドッグシェルターの様子も展示。

期間中、700名以上の方にご来場頂きました。



● H19年6, 7, 10, 11月：犬の躰教室

犬の躰の基本を学ぶためにメンバーの小泉さんによる躰教室を開催し、みんなで勉強しました。



5. 捨て犬・迷い犬レスキュー/里親探し活動

平成19年度中に当クラブで捨て犬・迷い犬をレスキューしたり、里親探しの依頼があったのは10件でした。2件は元の飼い主が見つかり、8件は新たに里親さん宅に引き取られて暮らしています。殺処分されてしまう命を少しでも減らしたい！私たちの活動理念の大きなひとつです。

年	月	犬種	処置
2007	5	ウイパット	新里親へ
	6	ミックス	新里親へ
	8	柴犬	飼い主へ
	10	ミックス(子犬)	新里親へ
	10	ミックス(子犬)	新里親へ
	10	ミックス(子犬)	新里親へ
	10	子猫	新里親へ
	11	ラブドール	新里親へ
2008	2	柴犬	新里親へ
	3	甲斐犬	飼い主へ



* 里親探しに際し、一時預かり頂いた「共生会・きさらぎ」様、健康診断をして頂いた「さくら動物病院」様、シャンプーをして頂いた「わんこのパフィー」様、ご協力ありがとうございました！

【メンバー愛犬紹介】 こまぞう 11歳(♂) (重本さん愛犬)

3年前、8歳でうちの子になりました。小型犬繁殖場の、狭いケージの中で、繁殖目的のために8年飼われ、高齢になったので、放棄された子です。ボランティアの方が、ネットで里親募集をしているのを見て、名乗りを上げました。引き取りに行った私を待っていたのは、ガリガリに痩せ、おどおどした、薄汚いパピヨンでした。 帰りの車で、助手席に乗せたこまぞうは、うつむきながらも私と目が合うと、小さくしっぽを振ってくれました。私は何度も、こまぞうに話しかけました。「お家に帰ろうね。私がお母さんよ。」と。懐くか心配でしたが、私にはすぐに懐いて、「お母さん命！」とばかりに、慕ってくれます。私以外の人間には、未だにあまり慣れませんが、こまぞうのいない生活は考えられないほど、家族の一員となってきています。こまぞうが、残りの犬生を、元気で長生きして、「産まれて来て良かった。」と思ってくれれば私も幸せです。



新規会員募集中！

捨て犬を無くしセラピードッグに育成することをサポートしている当クラブの活動に参加しませんか？
運営会議や行事への参加をお願いします！年会費3000円、会員の方には会報を送付。
「人と犬との共生」を目指し、心ある方のご参加をお待ちしております！